

助成受給団体名	ふりがな しわちくちいきあんぜんすいしんきょうぎかい 紫波地区地域安全推進協議会
事業の名称	安全・安心まちづくりフォーラム みんなでつくろう安心の街
実施期間	2016年8月1日～2017年3月31日
実施した事業の内容 1 フォーラムの内容 (1) 会場:都南文化会館田園ホール(収容800名) (2) 参加者:講師1名と同スタッフ4名、県警音楽隊30名、企業、ボランティア17名、スタッフ他16名 入場者約600名 (3) オープニング 岩手県警音楽隊による「ミニコンサート」 (4) 講演会 「元気があれば何でもできる！」講師 アントニオ猪木 さま 2 子どもを守る地域安全マップコンクール表彰式の実施 (1) 5団体から10枚のマップの応募があった。 (2) 岩手県地域安全マップコンクールに応募したところ、最優秀賞含み4点が入賞した。 (3) マップ10枚を会場のホワイエに展示した。 3 地域安全アンケートの実施 今後の活動の参考とするためフォーラムへの意見及び安全な暮らしについてのアンケートを実施した。 (1) 回収枚数187枚 (2) アンケートのまとめ(別添のとおり)	
事業の成果 ①フォーラムに地域安全マップの受賞式を組み込むことで子どもから大人まで一生懸命取り組んでいる姿を見せることが出来た。 ②多くの人がこのような機会を待ち望み継続して欲しいと希望している。(参加者アンケートにより把握) ③企業や防犯ボランティアがスタッフとして参加。他地区の人達と一緒に活動する事で、良好な人間関係が保たれた。 ④アントニオ猪木様の講演会に訪れた人たちも、体験から裏打ちされた人生訓が多くの人の心に共鳴し、元気があれば何でもできるような前向きな明るい気持ちを集まった人たちに与えることができた。それによって、平穩に生活する人が増え地域の安全につながった。 ⑤コミュニケーション不足の地域の絆を深めるためのフォーラムにたくさんの人が集まり、みんなの心が一つになったことから、地域の絆を深めることができた。 ⑥プログラムの裏表紙に地域安全活動を掲載することにより、一度に多くの方に安全・安心な街づくりについて意識を深めることができた。	
今後の課題 ① 地域安全マップコンクールの応募枚数を増やし危険箇所の確認と子ども自身の危険回避能力の向上、さらに地域の安全な環境づくりへの関心を高めることが必要である。	

